

実施報告書ー1

令和 5年度 「校庭芝生化地域連携事業」 実施報告書

区市町村名 武蔵村山 市

学校名 武蔵村山市 立 第十小学校

1 事業目的 協議会名 武蔵村山市立第十小学校グリーンサポーター

校庭芝生を活用して、学校を拠点とした地域コミュニティの活性化を図る。

2 主な取組と成果

今年度も、芝生を活用した学校行事や地域向け行事を開催し、学校が地域コミュニティの中心となることができた。コロナ禍が終わり、新たな行事の取組も始まり、芝生の新たな活用の可能性が見えてきた。

芝生の整備作業については、グリーンサポーターや用務主事に加え、環境委員会の作業が定着してきた。自分たちの芝生を、自分たちの手で守っている意識が芽生え養生中の表示や呼びかけも委員会で実施できた。



3 取組内容

コロナ禍が終わり、行事を徐々に復活させたり、新たな行事を設定したりすることができた。

①消防写生会（4月21日）

消防車を校庭に招き、児童は周辺の芝生から絵を描くことができた。

②防災キャンプ（5月19日・20日）

5年生を対象に、災害時の学校避難所開設について学んだ。簡易トイレの設置などを芝生近辺で体験した。

③アウトドアクラブによるキャンプ（10月19日・20日）

防災キャンプをきっかけに、学校での宿泊体験が発展していった。芝生にテントを張り、焚火を囲みながら、地域協力者とともに一晩を過ごした。

④天体観望会（11月18日）

芝生の上に天体望遠鏡を設置し、保護者・地域とともに星空を観察した。

⑤環境委員会による芝生作業（年間）

環境委員会が、年間を通して芝生作業の一部を担っている。芝刈りや冬芝の種まきなど、実際に作業を行うことで、芝生を大切に育てていこうとする心が養われた。



4 今後について

今後については、以下の点を模索していく。

- ・芝生を活用した新たな行事の創出
- ・体力向上に向けたサーキットトレーニングを企画

特に、2点目については、コロナ禍で大きく下がった体力について課題解決を図るものである。芝生の上を活用したトレーニングで、運動好きな児童を育成したい。

